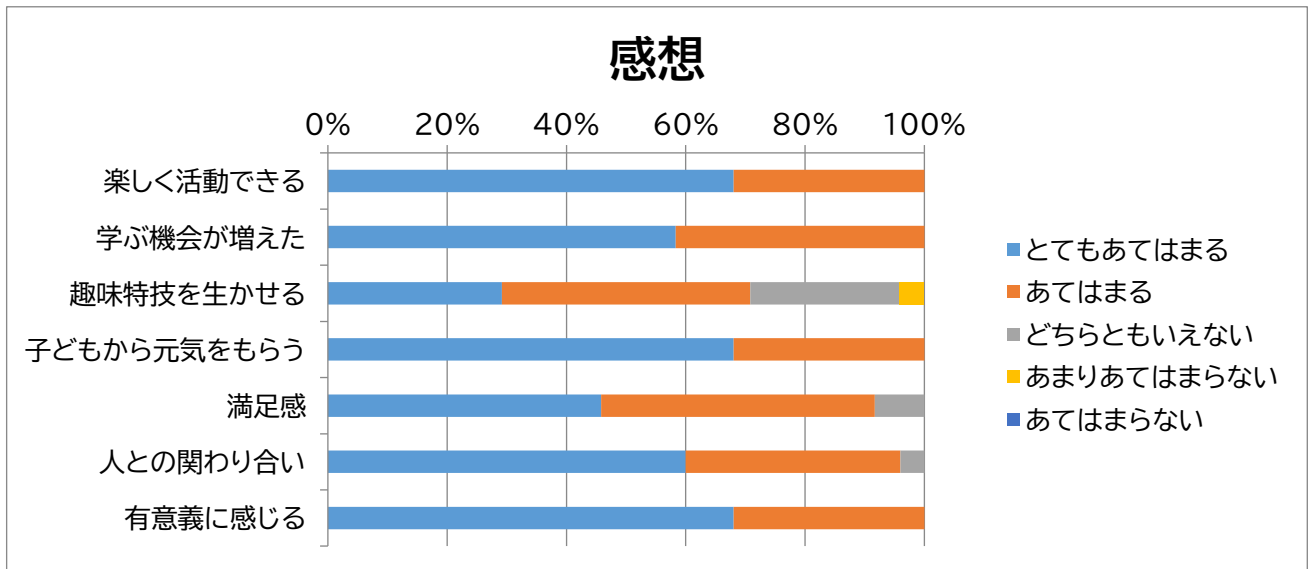
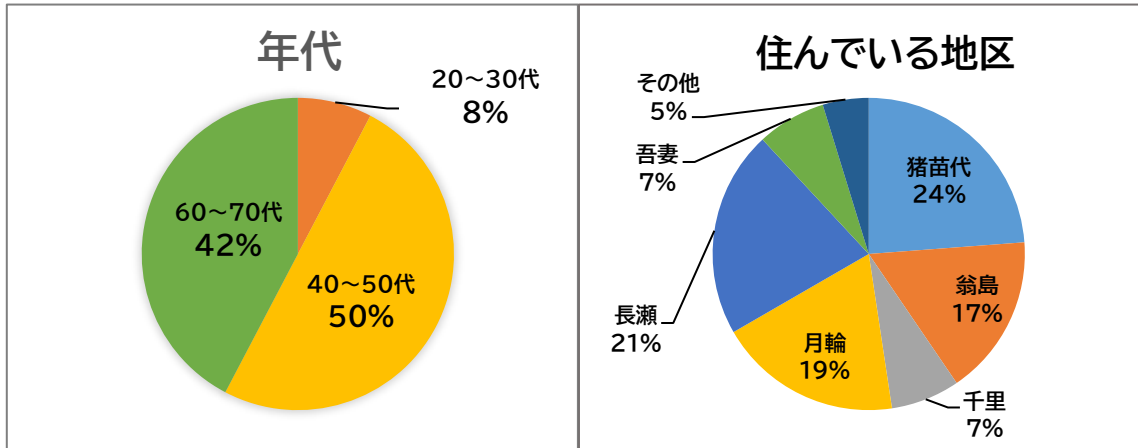


アンケート集計結果【スタッフ】



子どもたちについて

- ・小さい子どもたちには内容的に無理かなと感じることもありました。ゲーム＆パソコン世代とのギャップを感じました。
- ・合併して人数も増えてどうなる事かと心配しましたが、思いのほか子どもたちもスムーズに動いてくれていました。学年が進み、落ち着いてくれているようでした。
- ・元気で行動力もあり大変楽しく教室が出来ました。
- ・当たり前ですが、学年にかかわらずいろんなタイプの子がいて、ちょっとしたことで泣いたり、いじけたり、ずるい子がいたり、ベタベタしてる子がいたり、そういうのも含めおもしろいです。基本は楽しそうです。
- ・統合となり地域の子どもたちは大変なのだろうかと思っていたが、心配することもなく活動していてよかったと思う。
- ・体験を通して、相手の気持ちを考えられるようになったのではないかと感じた。

- ・ルールや遊び方を学び、楽しみながら活動していた。また、上級生が下級生の面倒をみながら活動していた。
- ・元気な子が多い。
- ・一部の子ども達は落ち着きのない様子が見受けられるが、活動を行う中で順応していく様子が見られる。
- ・どの教室でも元気いっぱいの姿が見られました。細かい作業や友達との共同作業も、それぞれがやりたいこと、やるべきことに取り組んでいました。思うようには動けない子もいました。
- ・興味をもって参加しているので楽しそうでした。
- ・自分の興味があるプログラムで参加したときは最後まで飽きずにいられるが、興味のないプログラムの時は途中で飽きてしまう子も、最後はきちんとお話を聞いてくれるようになりました。
- ・明るく元気な子どもたちを見ることができます。
- ・子どもたちのレベルを把握し、それに対応できるように努めています。最初から来れない子もぜひ参加したくなることを！
- ・翁小のお手伝いから第二小学校に変わりました。特に元気な子たちと、声も出さない静かな子たちの幅があることに気づかされました。声を出せない子に注意を払う事、大事ですね。
- ・学年を超えての活動がとても良いと思う。外部の大人との接点もできていいと思う。
- ・何をやるのか楽しみだという様子で集まり、作品ができるのが楽しみなようです。
- ・一日の学校生活（時間割り）が終わって放課後ということで、とても心が解き放たれた様子がうかがえた。
- ・異年齢の関係性でも劇を楽しく一緒に見ている姿があり、学校の時間だけでなく様々な時間に育まれる絆があると感じました。
- ・元気いっぱい自分のようなおばあちゃんにも話しかけたりしてくれてうれしいです。
- ・笑顔があふれていて、とても楽しそうでした。
- ・ものづくりの講座などでは、いろいろ工夫して自分のカラーを取り入れて作成している姿に感心しました。
- ・楽しく活動しているようでした。
- ・とても楽しみに参加しているように見える。次の会を期待している。（何やるの?!）

自身について

- ・猪苗代三番叟保存会の練習の成果を子どもたちの前で発表できた事、発表の反応を感じられた事、今後に生かせそうです。
- ・子どもたちと接することで元気をもらえています。また、幾年もすぎても子どもは同じなんだと思いました。
- ・子どもスポーツの指導力をさらに向上することが出来ました。
- ・小学生と関わるのがほとんどないので楽しいです。そして月1回(?)のこの時間を楽しみにしています。子どもたちが飽き始めたときに気を引けたり、時間稼ぎできたりできればいいなと思い始めています。
- ・70才近くになり、体力的なことを考えさせられ、子どもたちと一緒に活動できる体力をつけたい!と思っています。
- ・今まで子どもたちと接する機会があまりなかったため、子どもたちと接し元気をもらった気がする。またこちらにも勉強させられることがあり、有意義な時間だった。

- ・地域の学校と関わる機会が少ないなかで、子ども教室でのふれあいはたくさん元気・パワーをもらえる楽しい時間です。（もちろん子どもたちの安全を第一にしたうえで）
- ・子どもたちと接して元気をもらうとともに、今の子どもたちの様子もわかりました。また、自分もいろいろ経験させてもらって楽しく活動できています。スタッフの方々と会うのも楽しみ！！
- ・忙しい時期は頭の回転が回りませんでした。安全管理員さんを一度に確認できるようにラインのグループを作っていただき大変助かりました。
- ・子どもたちから元気をもらっている。
- ・自分が本気で楽しく動き回ってこそ子どもたちとの一体感が生まれます。依頼時期からプログラムを考慮し、下準備に時間を割いているときうれしくもあります。
- ・スーパーなどで、子どもたちから声をかけてくれることが増えた。「これは子ども教室でできそう！」など、目につくようになった。
- ・子どもたちの笑顔が見られて、私までほっこりしています。子ども教室が楽しみです。
- ・話を聞いているきらきらと輝いている瞳、t r yする気持ち、自分を見てほしいとたくさん話しかけてくる子、子供らしくてとても安心しました。元気な子どもたちからエネルギーをいただきます。
- ・なかなか余裕がない現状だと思いますが、子どもの目を見て、顔色を見て、同じ高さで話をしたり、触れたり、ちょっとしたことで信頼度が増すと思います。
- ・自分は孫もいないし、子どもと接するのはこういう時だけなので、元気をもらっている感じがします。
- ・あまり参加はできていないので、生活に刺激を与えるほどの変化は感じませんが、お手伝いの日はワクワクします。
- ・子どもと接する機会があまりない中で、子ども教室に参加することで自分も勉強することが多々あり、リフレッシュしています。
- ・お花に興味があるようで、嬉しく感じました。
- ・学校に行く機会が増え、元気をいただいております。

放課後子ども教室の役割として必要なことや大切なことは

- ・親だけでなく、先生以外の大人とのかかわりを持てる場で有効に色々な事を経験できる教室だと思います。
- ・家族以外の大人と接する事で、自分を見ていてくれる人がいるんだなあ～と少しでも思ってくれるといいなあ～。
- ・現代っ子の団体行動力が低い点を改善していきたいです。
- ・特別感です。「普段の学校生活や家庭の中では体験できない」＋「他学年や地域の大人とのかかわり」は子どもたちにとっても人格形成とまではいかなくても学びは多いでしょうし、我々大人にとっても生活にうるおいが多少なりとも出ると思います。
- ・年齢を問わず協力することの大切さ、協力して達成する充実感。たくさんのかたちを経験して自分のやりたいこと、好きなことを見つけること。
- ・近所に友達もいなくて家でゲームばかりのバーチャルの世界にいる等よりは、リアルに友達・先輩・後輩との付き合い方などかかわりを持って欲しいので、子ども教室はそのために必要だと思う。

- ・放課後という時間を有効に使い、普段関わりの少ない友達や上級生と下級生の関わりをもてることはとても良いことだと思う。また学校では学ぶことがないような内容を、地域の方々等を先生として活動する機会は、とても良い経験になると思う。
- ・子どもたち同士での助け合い。
- ・授業では教わることができないことや体験できないことを体験したり、知る機会を与えることが大切だと思います。
- ・子どもたちの自主性や楽しみにしている気持ちを大切に、積極的に関われない子や自己主張の強い子なども同じ時間を楽しく、驚きや発見、感動といった体験を共有できる場であると思っています。（いつも楽しい企画に誰よりもワクワクしています。）
- ・先生や友達だけでなく、地域の大人と接するいい機会だと思います。授業では習わないことができるのも魅力のひとつ。
- ・子どもたちとゆっくり話せる時間も必要だと思いました。
- ・授業では体験できなかったことが、将来の生活の糧になると思います。
- ・参加児童数と予定プログラムのマッチング（不参加の子どもも発生してしまうこともある）が大切と考えます。
- ・子ども同士、先生や家族以外とのコミュニケーション。いろいろな分野も体験。専門の講師との出会い。
- ・いろいろなことを経験するチャンスがあるのは良いことだと思います。（いろいろなことを経験することで、自分のやりたいことなどを見つけられるチャンスが増えることは良いと思います。）
- ・子どもが安心して大人と接する機会があることは学びとともに大切なこと、と思います。
- ・おうちに帰ってから、家族と一日あったことなどを話しているか、聞いてあげているか、など気になることです。家庭へのアンケート等も何か今後のために必要な？
- ・学校の授業などでできないこと、上級生とのふれあいなどができることはとてもいいことだと思います。
- ・子どもたちの「やってみたい」の気持ちを大切にすること、安心して過ごせる場を作ってあげること。
- ・学校では学ぶことができないことを子ども教室で実施すること。
- ・たくさんのことを体験し学べる時間。
- ・子どもの居場所があるのはとても良い。自然の子ども達の様子をうかがえる。